



一般質問

市民の声を市政に

議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、一般質問を行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に27人が登壇

内牧地区の市道2-41号線
大型車通行規制をして
子どもの安全確保を



今尾 安徳
議員

市道2-41号線は、交通量が
大変多く通学時間帯には子
どもの安全確保のために、内
牧小学校の先生やPTAの方
の交通当番など大変な苦勞を
して通学援助を行っています。

学校からの要望書でも、こ
の地域での信号機設置などの
要望が出されていると思いま
す。また、国道16号交差点が
五差路となっており、右折時
間が短く、大型車もこの道路
に曲がってくる状況です。さ
らに道幅が狭いため、通学安
全指導に立つ保護者の方から
も大変怖いという声が出てい
ます。そこで、大型車の通行
規制などの早急な安全対策が
必要と考えますが、この間の
地域要望と市の対応について
伺います。

○学務指導担当部長

歩道の拡幅や交差点に押し
ボタン信号機の設置、内牧小
学校前押しボタン信号機の停
止線位置の移動、内牧鷺香取

神社前市道に横断歩道の設置
について要望があります。

○建設部長

歩道の拡幅については、用
地確保の点から難しいものと
考えます。

○市民生活部長

信号機の設置については、
春日部警察署に要望書を提出
しています。大型車の通行規
制については、春日部警察署
に要望していきます。

このほか

○内牧地域に交番・駐在所の
設置を

○おむつ無料化で子育て支援
と子育て世代の定住促進を

高すぎる国民健康保険税は
一般会計からの繰入金を増
やし引き下げを



秋山 文和
議員

市町村が運営する国民健康
保険は、国民皆保険の重要な
構成部分です。国民健康保険
税が高い要因の一つに、国が
財政負担を減らしていること
が挙げられます。国が減らす
負担分は、国民健康保険税に
頼らざるを得ません。
そこで、夫婦と子ども2人

の4人家族で、年収300万
円の場合、収入に対する国民
健康保険税の負担割合はどれ
くらいか。市は県平均よりも
少ない一人当たり8567円
しか一般会計から繰り入れて
いないが国民健康保険税を引
き下げるよう市からの繰入金
を増やせないのか伺います。

○健康保険部長

夫婦ともに40代で、妻と子
ども2人を無収入とし、世帯
主である夫の給与収入が平成
24年度中300万円の場合、
負担割合は、11・9パーセン
トになります。なお、繰入額
の平均を算出する際の県の国
民健康保険税の額は、保険者
によって繰入金をその後返し
たり、基金に積むなどするこ
とから、比較は難しく、また、
繰り入れを前提に算出するも
のではないと認識しています。

○市長

国の負担拡充・強化に関し
ては、全国市長会を通じて国
に要望しているところです。
また、国民健康保険税の一般
会計からの繰入金による引き
下げは考えていません。

このほか

○商工業の振興について

○市街化区域内農地の位置付
けについて

消防行政の 活動の 緊急 に救



金子 進
議員

全国各地で異常気象による災害や想定できないような事件が多く発生し、さらに高齢社会を迎えた中で、市民の救急隊に寄せる期待は高まる一方です。このような状況の中、救急隊員の中には救急救命士がいて、心肺停止患者等の救命率や社会復帰率が向上しており、安心・安全な市民生活を確保する上で、重要な役割を担っています。

そこで、本市の救急出動件数の推移と出動件数増加に対する対策や取り組みについて伺います。また、救急車による迅速な医療機関への搬送対策として、県の救急搬送情報共有システムの導入について伺います。

○消防長

本市の救急出動件数は、平成22年が9616件、平成23年が10347件、平成24年が10579件と推移しており、県も全体で増加している

状況です。出動件数の増加により、救急要請が重複する際は、救急隊の効率的な部隊運用に加え、救急資機材やAEDなどを搭載した消防自動車が行先して応急措置を施すなど対応しています。県の広域災害救急医療情報システムにアクセスするための情報機器を整備するために創設された補助制度には、活用が可能になるよう内容を精査し、関係各課と協議の上、システムへの参画に努めていきます。

このほか

○開発行為に伴う生活排水について

**石川市長の公約
「日本一幸せに子育てができるまち」を問う**



松本 浩一
議員

本市の人口は、越谷市や草加市などの近隣市は増加しているのに、合併後3000人以上も減少しています。

転入よりも転出が増えている、出生数も出生率も減少している状況です。

これは、「子育て日本一」どころか、近隣市と比べて「子

育て支援」に対する施策が後手に回っているのではないかと云々ざるを得ません。

定住人口、とりわけ若い世代を増やすことは、本市にとって最重要課題です。

平成23年の市民意識調査によると、20歳から39歳は「子育て家庭への経済的負担の軽減、子育て環境の整備」を求めています。

本市の保育料は、県内40市で3番目に高く、春日部地域の学校給食費は県内で一番高くなっています。また、市民プールがなく、東中学校を除いて普通教室にエアコンが設置されていないなど、子育て環境の整備が不十分です。名実ともに「子育て日本一」を目指す市長の具体的施策と決意を伺います。

○市長

総合振興計画後期基本計画の重点プロジェクトに掲げた通り、子育てしやすいまちの実現に向けて、自ら先頭に立ってまい進していくとともに、組織全体で取り組んでいきたいと思っています。

このほか

○早急に学校司書の配置を
○ゆりのき橋付近の交通渋滞解消を

広域農道の安全対策と 管理の在り方と3月定例会 農道管理の請願の件について



小島 文男
議員

3月定例会で採択された埼玉葛城農道の請願について、県が県道として認定しない理由は何か伺います。また、農業者にとつて、一般国道と何ら変わらない危険な道路となっている埼玉葛城農道は、供用開始から長期にわたり安全対策を講じてきませんでした。最近になり少しずつ歩道が改修されてきましたが、安全対策を早急に進めることは行政の大きな使命であることから、埼玉葛城農道の今後の安全対策について伺います。

○建設部長

県は、県道整備事業とは目的が異なる、現在も大規模農道の役割が継続している、維持管理は市が行うと定めた上で整備したものである、県内の同様な要望も認定していないとの理由から難しいとの見解です。現在、県は農道の機能維持や向上を目的として保全対策計画を作成しています。

埼玉葛城農道の今後の安全対策と管理は、計画が確立された段階で適正かつ計画的な維持管理を含め講じていきます。

○市長

埼玉葛城農道は、県東部地域を縦断しており、本市にとつて重要な路線と認識しています。現在、県が作成している保全対策計画を踏まえ、関係市町と連携し、適切な維持管理に努めます。

このほか

○市道の整備について

○小中学生の減少について

○墓地、霊園、納骨堂について



埼玉葛城農道（桶籠地内にて）

行政改革・土地開発公社 経営健全化について



会田 幸一
議員

土地開発公社は、高度経済成長期には、一定の役割がありました。現在の社会情勢や経済状況の中では、役割を終えたという認識のもと、解散を決めている自治体も多くなっています。

そこで、①本市は現在、簿価総額が標準財政規模の0・28で、「第一種公社経営健全化団体」に該当しますが、国の経営健全化対策を実施するか、財政や事業に対する影響をどのように考えているのか。②市の財政運営に大きな影響を与えないよう配慮しながら、独自の処分方針を立てるべきと思いますが、どのように考えているのか。③買い戻した代替地の処分については、思い切り良く公売なども検討すべきと思いますが、市の考えを伺います。

○財務部長
国の第3次土地開発公社経営健全化対策の条件では、市

の財政負担が大変大きくなる



市役所土地開発公社

ゲリラ豪雨 対策について



蛭間 靖造
議員

近年、ゲリラ豪雨と呼ばれる大雨が日本各地で多発しており、本市でも8月6日にゲリラ豪雨に見舞われ、ユリノキ通りのアンダーパスや春日部郵便局の交差点付近などが道路冠水を起こし、テレビ報道されました。

そこで、3点伺います。

①現在、中央町第1公園に、新病院を建設するため、道路設計を行っていると同つていますが、新病院の周辺道路の大雨に対する対策について、伺います。②市内の多数の場所です。③市内の多数の場所です。④市内の多数の場所です。⑤市内の多数の場所です。⑥市内の多数の場所です。⑦市内の多数の場所です。⑧市内の多数の場所です。⑨市内の多数の場所です。⑩市内の多数の場所です。⑪市内の多数の場所です。⑫市内の多数の場所です。⑬市内の多数の場所です。⑭市内の多数の場所です。⑮市内の多数の場所です。⑯市内の多数の場所です。⑰市内の多数の場所です。⑱市内の多数の場所です。⑲市内の多数の場所です。⑳市内の多数の場所です。㉑市内の多数の場所です。㉒市内の多数の場所です。㉓市内の多数の場所です。㉔市内の多数の場所です。㉕市内の多数の場所です。㉖市内の多数の場所です。㉗市内の多数の場所です。㉘市内の多数の場所です。㉙市内の多数の場所です。㉚市内の多数の場所です。㉛市内の多数の場所です。㉜市内の多数の場所です。㉝市内の多数の場所です。㉞市内の多数の場所です。㉟市内の多数の場所です。㊱市内の多数の場所です。㊲市内の多数の場所です。㊳市内の多数の場所です。㊴市内の多数の場所です。㊵市内の多数の場所です。㊶市内の多数の場所です。㊷市内の多数の場所です。㊸市内の多数の場所です。㊹市内の多数の場所です。㊺市内の多数の場所です。㊻市内の多数の場所です。㊼市内の多数の場所です。㊽市内の多数の場所です。㊾市内の多数の場所です。㊿市内の多数の場所です。

○建設部長

新病院の建設に合わせ、外周道路の詳細設計を実施し、大雨時においても救急自動車などが円滑に通行できるように

道路の高さの調整や雨水を貯留する等の道路冠水対策を検討しています。市内のゲリラ豪雨対策は、一部のポンプ場では、事前に水路の水を排水し、水路内にためられる水量を増加させる等の対応をとっています。市役所周辺の雨水排水には、春日部公共下水道計画の中の雨水整備計画により、安之堀川へ排水する流域となつていきますので、古隅田川へ放流することはできません。

このほか

○交通信号の改良について

○夏まつり開催後の清掃について

德育について



荒井 美穂
議員

教育は、知育、德育、体育と言われ、そのどれもが重要です。特に德育を通じて、身に着けるべき事柄は、父母や祖父母などを敬い、家族を愛すること、思いやること、できる想像力、感謝する気持ち、他者と共感できる心の育成、規範意識を持ち、やっ

らないことを認識できること、公共性に関する意識を持つこと、謙虚な心を持ち年長者の考えに謙虚に耳を傾けること、情報メディアの正しい接し方やインターネット等の利用の常識を持つことなどが大事です。また、德育には、家庭の役割が大きく、大人社会が子どもたちにとって良い手本になつていくか、あらためて見つめ直すことも今、必要だと思いますが市の考えを伺います。

○教育長

德育は、道徳性や理性を養うための教育として生きる力を育て、豊かな心をはぐくむ上から極めて重要なことと考えています。本市では知徳体の学びの基本を春日部メソッドと名付けて、全教育活動を通して「伝え合い」、「学び合い」、「育ち合い」、「思い合い」がうれしい教室の実現を目指しています。家庭でしつけ、学校で学び、地域で育てることを基本に、道徳性や理性を持った心豊かな児童生徒を育てることが春日部における德育の目指すものであり、意義であると考えています。

このほか

○熱中症対策について

○商店街の活性化について

職員窓口業務について 「おもてなしの心で」



荒木 洋美
議員

日本の「おもてなし」という言葉は「心を込めて客の世話をする」との意味があります。

寄居町では窓口業務を行う上で各課から若手職員を集め、おもてなしの取り組みを調査研究して、「一課一品YORI YOIおもてなし運動」を行っています。

本市としても、おもてなしチームをつくり調査研究をして、独自のおもてなし運動を行ってみたいと思います。

また、市民サービス向上のために講師を招き、窓口業務改善の講演会や民間事業所での接待の研修を提案しますが市の考えを伺います。

○総務部長

本市では、「ようこそ春日部へ、ひろがれ笑顔」をキャッチフレーズとした職員接遇マニュアルを作成し、「気配り」、「親切」、「明るく」をモットーに、心のこもった対応ができるよう積極的に取

り組んでいます。

接遇研修の講師についても、民間企業で経験豊富な講師を招き、より実践的な研修を実施しています。

また、民間事業所での接遇研修については、受け入れが可能であれば、積極的に取り組んでいきます。

このほか

○市民の健康について

○防災訓練について

○粗大ごみ処理券の取り扱いについて

○開通した藤塚米島線及び南桜井駅前南線の安全対策について

今後の都市計画道路の 在り方について



英明 滝澤
議員

本市の都市計画道路は全体で32路線、延長約75キロメートルあるうち、約47キロメートルが整備済みで、整備率は約62パーセントです。これは国道、県道を含んでおり、市が都市計画の決定権を持つ路線は21路線、延長約28キロメートルありますが、約12キロ

メートル、約43パーセントが未整備です。

40年以上未整備の現実を見ると計画区域内にお住まいのかたがたは、土地利用は可能ですが、建物の階数や構造などに一定の制限があり、長期にわたって整備時期などの方向性も示されていません。

そこで、①道路計画の課題の認識②道路の必要性の検証や見直し③今後の整備方針について市の考えを伺います。

○都市整備部長

都市計画道路の整備は、財源が限られることや実施段階で用地費や補償費が折り合わないなど長期化している状況ではありますが、未着手あるいは未整備区間があることは重要な課題と認識しています。

また、社会状況やまちづくりの方向性、新たな課題など計画決定当時と大きく変化していることから適正な見直しが必要であると考えています。今後も適正な検証と見直しを行い、効果的で効率的な都市計画道路を推進していきたいと考えます。

このほか

○印刷業に従事する従業員の胆管がん発症の現状と労働災害について

春日部市内工事に 税金の無駄遣いは 無いかについて



井上 英治
議員

当初は良かれと考えて行った事業でも無計画性、見通しの甘さから税金の無駄遣いとなった過去の事例を2点伺う。

①閉鎖中の春日部駅東口第1自転車駐車場の設置経緯と内容、安全対策、今後の方針等について②春日部駅西口改札前の屋根は豪雨時に雨漏りして役に立ちません。緑石まで拡張し迎車待ちできるように要望します。その他の例では中央町第4公園改修は無駄遣いの象徴となる。構想は撤回しふじ通りのカラー舗装やふれあいキューブへの空中歩道を優先すべきだ。駅西口広場噴水撤去も鉄道高架着工時には無駄だったと必ず後悔する。

○市民生活部長

駅東口第1自転車駐車場は、自転車駐車場整備センターと協定書を締結し、平成2年から事業費約3億円、収用台数709台で開始し、平成17年に市に無償譲渡後、同年4月

に閉鎖し、出入口は2重ロックで管理しています。今後は、関係部署と協議していきます。

○建設部長

西口改札前屋根の雨漏りは、速やかに補修を行います。

○鉄道高架担当部長

中央町第4公園は中心市街地まちづくり計画エリアに含まれ、にぎわいの創出等のイメージとして検討しています。

このほか

○春日部市立市民武道館の利便性向上について

○漫画「はだしのゲン」は春日部市内の小中学校でどのように扱われているか



春日部駅東口第1自転車駐車場

早期発見早期治療の ために人間ドック 助成制度の再開を



大野とし子
議員

人間ドック助成制度再開は市民要望も強く、平成23年度市民アンケート高齢者の健康づくりにおいて健康診断、健康相談体制の充実を求める声が全体の54・3パーセントとなっています。人間ドック助成制度は、平成25年度に幸手市、羽生市が開始し、40市中33市が行っています。

多くの自治体が人間ドック助成制度を継続していることを、どのように考えているのか伺います。総合的検診、早期発見早期治療という観点から人間ドックは重要であり、助成制度の再開をしてほしいと考えますが、市の考えを伺います。市民の命を守るために人間ドック助成制度の再開の決断をしてほしいと考えますが、市長の考えを伺います。

○健康保険部長

人間ドック事業の補助は、それぞれの保険者の判断によるものと認識しています。本

市の特定健康診査は、市独自の項目を追加して、人間ドック同等程度の検査内容となっており、春日部版人間ドックと言える内容となっていることから、人間ドック補助の再開は考えていません。

○市長

特定健診や各種がん検診を行っていることから補助事業の再開は考えていません。

このほか

○庄和北部地域にコミュニティーのための公共施設を早急に

○空き地及び空き家等管理の適正化に関する条例の制定を

総合振興計画 前期基本計画の評価と 今後の展開について



鬼丸 裕史
議員

今年度から後期基本計画がスタートしていますが、前期基本計画の取り組みの達成状況をどう分析評価していますか。その中でどのような課題があり、どのように取り組みますか。また、石川市長は6月定例会で市長選への出馬表明をされ、今後の市政運営

について強い意欲を示されました。そこで、市長は前期基本計画をどう評価しどのよう

○総合政策部長

前期基本計画は、全体的にバランスよく進捗できたと評価しています。今後、春日部

駅周辺や新病院、保育施設等の整備、また子育て支援策の充実やシティセールスの強化等に積極的に取り組み、人々から選んでもらえる魅力的なまちづくりを進めていきます。

○市長

全体として目標の8割程度が達成できたことは、おおむね順調に進捗できたものと自負しています。今後の市政運営に当たっては、私自身が先頭に立ち、職員一丸となって後期基本計画の推進を図るとともに、引き続き市民の皆さまや市議会の皆さまのご協力をいただきながら、住んでみたい、住み続けたいと思っただけのまちの実現に向けてオール春日部で取り組んでいきたいと考えています。

このほか

○春日部市保健センターの充実と安全対策について

○スポーツ・レクリエーションの推進について

消防行政について



河井 美久
議員

消防の役割は、火災現場での消火活動だけでなく、地震等の災害の防除など、あらゆる災害に対して活動していることと思います。

そこで、消防車の出動態勢については、どのようになっているのか伺います。

また、住宅などの火災で周囲の建物に燃え移ってしまう場面を見かけますが、類焼してしまうことは、何か原因があると思います。消防の考えを伺います。

○消防長

消防車の出動態勢については、火災出動計画を定め、災害に出動すべき消防車の台数を設定し、活動に反映させています。住宅火災の通報を受けますと、消防車両など、必要な車両が8台程度出動する仕組みとなっています。その後は、火災の規模や現場の状況により車両を増減しています。

類焼火災の原因については、119番通報の遅れなどが影響していると考えています。火災現場における活動は、多様な災害に対応できるマニュアルや、各隊員の現場で培いました経験を駆使して活動しています。消防の活動方針としても、人命救助を最優先するとともに、延焼阻止活動にも力を注いでいます。

また、隊員の教育状況についても、実際に発生した火災あるいは今後発生するかもしれない火災を想定した机上における訓練や、実践的な訓練を繰り返し精励しています。



春日部消防署の消防車

投票所入場券に 宣誓書を



栗原 信司
議員

選挙に関する市民の関心を
集めるための話題作りの一つ
として、そして、市民の投票

に関する利便性向上のための
提案として、期日前投票など
の際に必要な宣誓書を投票所
入場券の裏側に印刷すること
や、同封して郵送、広報かす
かべに宣誓書のページを作る
こと、または公民館等の公共
施設にあらかじめ置いておく
ことはできないものか、伺い
ます。

○選挙管理委員会事務局長

入場券の裏側に宣誓書を印
刷する場合、宣誓書が小さく、
記入しづらいなどの課題があ
り、入場券に宣誓書を同封す
る場合にも、圧着はがき方式
から封筒方式に変更すること
それに伴う電算システム改修
などが必要となります。

さらに、広報かすかべに宣
誓書のページを織り込む場合
国政選挙には、期間的に間に
合わないなどの課題もありま

す。いずれもご提案の趣旨に
は賛同しますが、現実的には、
実施は難しいものと考えてい
ます。

ご提案の公民館等の公共施
設に宣誓書を置くことは、有
効な手法の一つであり、10月
20日執行の春日部市長選挙か
ら実施できるよう関係部署と
調整していきます。

このほか

○火災基金条例の制定につい
て

○冠水対策について

○災害時におけるペット対策
について

○交通安全対策



投票所入場券と期日前(不在者)投票宣誓書(兼請求書)

人口減少 対策について



佐藤 一
議員

本市の総人口は、平成24年
12月から24万人を切っていま
す。国立社会保障・人口問題
研究所では平成22年の国勢調
査の結果に基づき本市の将来
人口を想定しており、平成47
年には20万人を下回ると予想
しています。生産年齢人口が
減少すると財政的にも厳しく
なりますが、市政運営をどの
ように進めていくのか。また、
今後、市の魅力を見いだし発
信していくための具体的な対
策を伺います。併せて人口減
少社会に伴う市政運営につい
て、市長の考えを伺います。

○総合政策部長

人口減少は、市税収入や地
域の活力に大きな影響を及ぼ
すため、総合振興計画後期基
本計画の重点プロジェクトに
位置付けた事業を執行部一丸
となつて取り組んでいきます。
市の魅力発信のためシティセ
ールズ戦略プランを作成し一
貫性のあるシティセールスを

進めていきます。また限られ
た財源で安定的な行政サービ
スを提供するため、第2次行
政改革大綱に基づき効率的で
効果的な行政運営を進めます。

○市長

今後のまちづくりについて
は、短期的な視点や長期的な
視点など幅広い視点を持ちな
がら、どこよりも選ばれるま
ちの実現を目指し、一つ一つ
の施策にしっかりと取り組ん
でいきたいと考えています。

このほか

○大落古利根川を活用したま
ちづくりについて

○学校給食と食育について

春日部駅西口交流 広場等整備事業と ムクドリ対策について



岩谷 一弘
議員

春日部駅西口整備等につい
て、以下質問します。①春日
部駅西口交流広場等整備事業
の概要と効果について②駅周
辺のムクドリ対策について

○鉄道高架担当部長

まず西口改札口付近の歩道
の拡幅です。これにより、通
行者の安全性が高まるものと

考えています。次に、老朽化
して使われなくなった噴水の
撤去です。噴水は、地元商店
街からもたびたび撤去の要望
がありました。さらにフジ棚
を修繕し、多目的に利用できる
ものと考えています。最後に、
これまで市民の皆さまから要
望の多かった時計の設置です。
時計は、タクシールール付近
の植栽帯に設置します。

○建設部長

ムクドリ対策は、器具で追
い払う、街路樹を剪定し防鳥
ネットで覆う、ムクドリの嫌
がるハーブの匂い袋を街路樹
につり下げるなどの対策を行
ってききましたが、時間の経過
とともに効果が薄れてしまう
状況でした。そこで、今年度、
ムクドリの飛来時期よりも早
く市役所通りの街路樹の剪定
を実施したところ、一定の効
果が見られ、駅前通り付近に
はムクドリが寄りつかなくな
りました。まだ抜本的な解決
策が確立されておりませんが、
根気強く取り組んでいきます。

このほか

○内谷地区まちづくり計画に
ついて

○新たな人材育成基本方針に
ついて

文字を認識することが
困難な児童生徒のために
デイジー教科書の活用を



五十嵐みどり
議員

視力に問題がないのに教科書がうまく読めず困っている学習障害や読み障害といわれる発達障害の子どもがいます。見た目からは分かりにくいため、サボっていると思われて、自信をなくすこともあるようです。

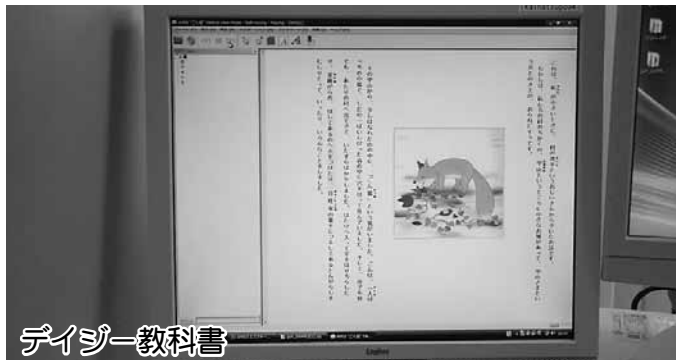
そのサポート方法の一つにデイジー教科書があります。このデイジー教科書は主にCDをパソコン等で使用し、音声聞きながら同時に画面上で絵や写真を見ることができま

す。また、読んでいる箇所がハイライトされるので、どこを読んでいるのか分かるようになっています。授業でこの教科書を使い、全国で成果があがっています。

そこで、本市においても活用できないか伺います。

○学務指導担当部長

デイジー教科書は著作権法により、申請した児童生徒し



デイジー教科書

日本障害者リハビリテーション協会ホームページより

か使用が認められていないため、通常学級の学級全体での使用はできません。また、使用するにはいくつかの課題もあるため、今後も活用についての研究を進めていきます。通級指導教室でデイジー教科書を導入するかについては保護者、本人、担当教員が十分協議した上で判断することが望ましいと考えています。

このほか

○災害時、自力で避難することが困難な「要援護者」の避難対策について

○国の「いじめ防止対策推進法」の制定を受けて

よいこと運動を
すすめる会について



矢島 章好
議員

「よいこと運動をすすめる会」は、日常生活の中で、良いことを行った子どもたちを積極的に認め、褒めてあげることを通じて、子どもが明るく育ち、家庭や地域がよくなることを目的に、市内においてさまざまな取り組みを行っている団体と伺っています。こうした活動を広く市民の方々に知っていただくこと、また、こうした活動をする団体を奨励するため、市としてどのような支援ができるのか、団体の活動を周知し、充実するための具体的な方策等があればお聞かせください。

○社会教育部長

「よいこと運動をすすめる会」の活動が自主的な団体であることを尊重しつつ、教育委員会が後援するとともに、求めに応じた助言、情報提供などの支援を行っていきたいと考えています。また、平成23年3月に青少年育成春日部

市民会議が発行する機関紙「いくせい」で当団体の紹介を行うなどの団体間の連携もありました。

今後はこのような団体間の連携を考慮しつつ、団体の意向を確認しながら、広報かすかべや市公式ホームページ、あるいは教育委員会ホームページ等を活用して、機会を捉えて活動を紹介していきたいと考えています。

このほか

○コーディネーショントレーニングの導入について

○課題解決力をつける修学旅行の実施について

商店街の活性化 事業について



山口 泰弘
議員

商店街の街路灯について伺います。

①街路灯の設置、改修に関して国と市の補助制度ではどんなものが補助対象になりますか。②補助を活用してLED街路灯に改修した場合どのくらいの補助になりますか。③街路灯の電気料金の見直しを

行うべきですがいかがですか。

○環境経済部長

市では商店街環境施設等整備事業として、新たに街路灯を設置する場合に費用の4分の1以内の額を、改修する場合に6分の1以内の額を、1商店街当たり800万円を限度として補助しています。なお、設置した街路灯の電気料金は、10万円を超える分の30パーセントの額を補助しています。また、国では商店街まちづくり事業として、施設設備等について補助率3分の2以内、補助額は1億5000万円を上限に補助しています。既にLED街路灯の改修をした商店街の平均的な総事業費は約1400万円、国と市の補助金額の合計は1100万円となり、商店街の自己負担は300万円になります。商店街の街路灯は、地域住民の生活環境の維持にも大きく貢献していることから、商店街の負担軽減や活性化につながるよう街路灯の電気料金も含めた補助制度の包括的な見直しを検討していきたいと考えています。

このほか

○人・農地プラン、新規就農者対策について

高齢者虐待 防止について



片山い<子
議員

本市では高齢者の虐待防止のために制定された、いわゆる「高齢者虐待防止法」に基づいて、虐待の早期発見、早期対応のための種々の対策を図ることが求められています。

しかし、なかなか表面化しにくく早期発見につながらない、介護や養護の放棄、心理的虐待、経済的虐待は、さらにきめ細かい対策が必要と考えますが、どのような取り組みをしているのか伺います。

また、養介護施設における虐待は、通報件数が極端に少ないことから、第三者の目が届くよう、施設オンブズマンを制度化する動きもあります。それに対してはどのように考えているのか、伺います。

○福祉部長

高齢者虐待防止見守り等支援ネットワークの中で、特に個別訪問する事業者と密に連携を取りながら情報収集に努めています。また、高齢者に

一切お金を渡さないなど金銭面での締め付けも虐待になるなどの啓発を行い、近隣のかたがたが「これは何とかしてあげないか」と思うことにつながるような地域コミュニティづくりを進めることが必要になると考えています。

行政主体のオンブズマン制度の導入は、中立的な立場で迅速かつ適切に対応できているかどうか、既に導入している自治体の状況などを参考に、研究していきたいと考えています。

このほか

○行政評価について

不審者から 子どもたちを守る ための対策を



渡辺 浩美
議員

子どもたちに対する不審者情報のメール配信があります。子どもは逃げて無事でしたとありますが一人で外出できなくなるなど、心は傷つきます。不審者事案の発生件数は、平成22年が42件、23年が46件、24年が61件と増えています。このような状況は早く改善し安全

な春日部にしなければなりません。地域のかたがたに尽力していただいています。市として対策を取るべきだと考えます。子どもたちが安心して通学できること、外で遊べる環境を整えることは、市の重要な役割です。発生時間が、午後3時から6時に集中していることから、地域任せにせず、この一定時間、市で人を雇用することやシルバー人材センターに委託する等して、パトロールを行うべきです。

また、たくさんの方の目が犯罪の抑止につながるから、広く誰でも無理のない程度に協力いただける方法として、買い物や犬の散歩など普段行っていることを、夕方にしていただくよう広報等で呼びかけては、いかがでしょうか。

○市民生活部長

防犯には地域の協力が欠かせませんので防犯に関する情報を発信し、防犯意識の向上を図っていきます。

○市長

子どもは地域の宝であることから地域の防犯力の向上が大切であり、雇用による対策は考えていません。

このほか

○学校のトイレを洋式に

市内公立小中学校 普通教室の エアコン設置について



武 幹也
議員

市内公立小中学校普通教室のエアコン設置については、お子さんを小中学校に通わせている親御さんをはじめ多くのかたがたから「教室にエアコンを付けてください」等の率直なご意見をいただいています。埼玉県内では小中学生の5人に2人、高校生の場合は5人に4人がエアコンの恩恵を受けています。学校環境衛生基準では、教室等の温度は10度以上30度以下が望ましいとされています。そこで、既に普通教室にエアコンが設置されている東中学校同様に平等な予算措置の観点から他の市内公立小中学校の普通教室にもエアコンを設置するべきと考えますが、市の考えを伺います。なお、エアコンが設置されるまでの期間は、扇風機を一教室に4台ずつ配置することを提案します。

○学校教育部長

普通教室へのエアコン整備

については、学校の長寿命化を図る対策の中で全体を見据えた施設整備の方向性を検討するべきと考えています。

扇風機の台数については、各学校の実情を踏まえて必要な整備に努めていきます。

このほか

○弁護士などの法曹有資格者職員の採用について

○自治会の魅力をまとめたガイドブックについて

○県営公園（仮）新たな森に「ホタルの里」をについて

○都市計画道路「上野長宮線」について

○新市立病院について



普通教室の様子（内牧小学校にて）

「日本一いきいきと 老後が過ごせる まち」を問う



卯月 武彦
議員

介護保険料の値上げや敬老祝金も対象が削られるなど、高齢者の負担は増え、サービスが削られています。

いきいきと老後を過ごすために、介護保険料を軽減すること、特別養護老人ホームを大幅に増やし待機者を解消すること、長寿記念事業の対象年齢を以前の敬老祝金の対象年齢に戻すこと、福祉タクシー券と同様の制度を要介護認定されている高齢者にも実施すること、空き店舗などを利用して高齢者の居場所づくりを行うことなどを総合的に進めてはどうか、伺います。

○健康保険部長

介護保険料は、介護保険法の規定により軽減はされています。また、特別養護老人ホーム待機者の解消は介護保険事業計画に位置付けをし、計画的に整備をしています。

○福祉部長

敬老祝金の支給を以前の支

給対象へ戻すことや要介護高齢者の方までタクシー券の支給拡大をすることは、高齢化の進展により対象者が増加するため困難な状況です。

空き店舗を利用した高齢者の居場所づくりは、社会福祉協議会で事業を実施しており、常設の場所は考えていません。

○市長

多様な高齢者支援施策を進めることが「日本一いきいきと老後が過ごせるまち」の実現につながると思っています。

このほか

○小中学校のすべての教室にエアコン設置を

市民及び自治会、 事業者への「防犯カメラ 設置事業」の提案



大山 利夫
議員

松戸市は、ひったくりや空き巣等の犯罪が起りやすい住宅街の防犯対策として、リース費用を負担してもらおうかたちで民家や事業所に防犯カメラを設置する事業を11月から始めます。市民や自治会によっては、防犯カメラが必要と思っている方がいると思い

ます。

また、事務所荒らし対策として、設置を望む事業者の方もあると思いますので、今後、「自治会加入促進条例の制定」のための実態調査と合わせ、防犯カメラ設置要望の必要性を自治会連合会と共に調査することを提案しますが、考えをお聞かせください。

○市民生活部長

本市におきましても、ひったくりや空き巣は自転車盗難に次いで多い犯罪であり、犯罪の予防、検挙には防犯カメラは有効であると認識しています。

今後、松戸市の事業が開始され、その状況を調査研究する中で、事前調査も検討していきます。

このほか

○春日部市と埼玉りそな銀行との連携協定の締結について
○春日部市と「JAF」との連携協定の締結について
○「支援自動販売機」の提案

○教育行政について

○災害発生時に全市職員の携帯電話へ招集と安否確認メールを送信する導入の提案

○「子ども虐待防止サポート・タ―養成事業」の導入を提案

○トイレシェアリングの提案

通学路の安全 対策について



小久保博史
議員

平成25年度の通学路に関する要望について、市民生活部所管の対応できない理由の答弁の中で、物理的に無理な案件が多いように感じました。

しかしながら、交通指導員の配置については、必ずしもそうでないものと思われ、現在の体制では難しいのとこのことです。

教育委員会の通学路に対する改善要望で挙がってくるのは、保護者・地域の願いです。

交通指導員には、どのような天候でも、毎日、早朝から子どもたちを見守っていただいています。保護者だけではなく、地域の皆さまも大変感謝をしています。

そこで、より多くの交通指導員に、少しでもやりがいを感じていただくために、現状にあった報酬や仕組みについて、見直しが必要ではないかと考えますが、市の見解を伺います。

○市民生活部長

交通指導員の報酬については、本市交通指導員設置条例に基づき、月額報酬として2000円を支給しています。

この報酬額は、合併前の旧春日部市におきまして平成2年4月に見直しを行ったものですが、その後、平成17年に旧庄和町との合併協議を経て現行の日額2000円となっています。

しかしながら、既に合併から8年が経過しており、他市の状況も鑑み、見直しの必要性について検討していきたいと考えています。



交通指導員による交通指導

災害時の避難所 におけるトイレ 対策について



中川 朗
議員

災害時の避難所で、トイレ環境を整えることは重要です。東日本大震災では、多くの被災者が避難所などで体調を崩し死亡しています。復興庁によると、避難生活の疲労による病気等での死者数は、本年3月31日現在で2688人です。避難所での生活環境を悪化させる要因の一つがトイレ対策と考えますが、市はどう想定し、対策を進めているのか伺います。また避難所となる施設が整備される際は、マンホールトイレ用の設備が整備されることが望ましいと考えます。特に学校敷地内へ整備することが効果的と考えますが、いかがでしょうか。

○市長公室長

地域防災計画に基づき、さまざまな状況を想定しトイレ対策を行っています。公園などの避難場所は、屋外のため組み立て式トイレを備蓄しています。耐震化対策が進んで



マンホールトイレ

いる学校などの施設で下水道等が利用できない場合に備え、既存トイレにかぶせて使用できる簡易トイレを各避難所に配置しています。また避難場所でも下水道が使用できる場合、マンホールトイレ用の設備は衛生的だと認識をしています。

○学校教育部長
学校敷地内のマンホールトイレ用の設備は、防災部局の研究を踏まえ検討します。

このほか

○生活道路における交通安全の確保について

○子どもとインターネット社会について

今定例会の日程

8月26日

○開会

○議会改革検討特別委員長中間報告とそれに対する質疑

○議案第69号から議案第100号までの上程・説明

8月29・30日

○議案に対する質疑

9月2・3日

○議案に対する質疑

9月5・6日

○常任委員会

9月10・11・13・17・18日

○一般質問

9月20日

○常任委員長報告とそれに対する質疑

○各議案及び請願に対する討論・採決

○議員提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決

○議員提出議案の選挙

○閉会

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

8月21日

・平成25年9月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

7月16日

・反問権の導入について

・政務活動費の使途基準等について

・政務活動費の公表方法等について

・議員定数について

・本会議における討論の制限時間等について

・ホームページの運用にかか

る政務活動費の活用について

8月9日

・反問権の導入について

・政務活動費の項目及び内容等について

・議員定数について

・中間報告書(案)について

9月20日

・政務活動費の額について

・政務活動費の手引書(案)について

・議員定数について

10月4日

・政務活動費の額について

・議員定数について

・政務活動費の手引書(案)について

▽広報広聴委員会

8月21日

・平成25年度の議会報告会について

・議会だよりの検証について

・政務活動費の市民への公表について

・議会だよりの表紙写真について

9月25日

・議会だより第33号の発行について

・平成25年度の議会報告会について

・議会だよりの写真テーマについて

10月4日

・議会だより第33号の発行について

・平成25年度の議会報告会について

▽図書室運営委員会

10月4日

・平成25年度図書書の購入について

・議会だよりの検証について

・平成25年度図書書の購入について

次 の 定 例 会 は 11 月 25 日 (月) 開 会 予 定 で す

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。傍聴席は56席(車イス傍聴席2席含む)です。

本会議は、通常午前10時から開催します。